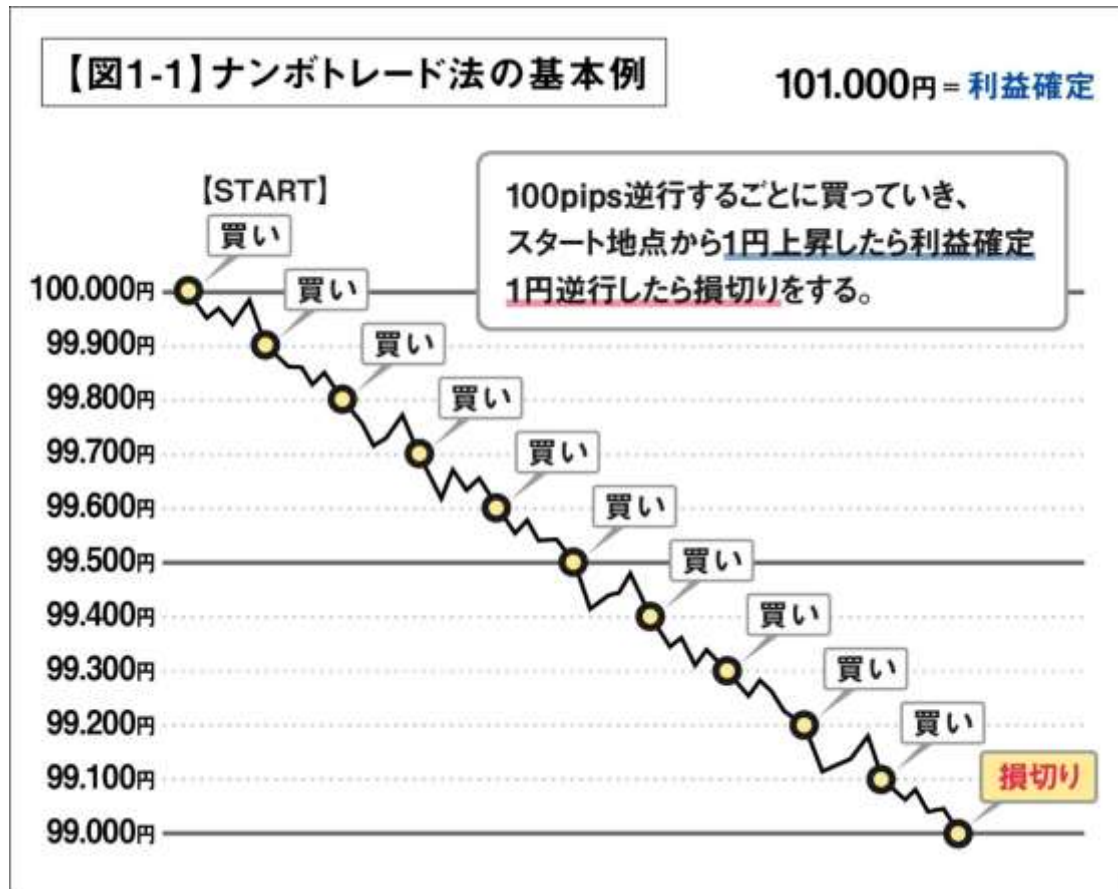


川崎ドルえもん流！FXトレード手法 ～応用編～

ナンボトレードとは

ポジションを一度に持たずに分割して持っていく、特定のポイントに達したら利益確定、もしくは損切りを行う。

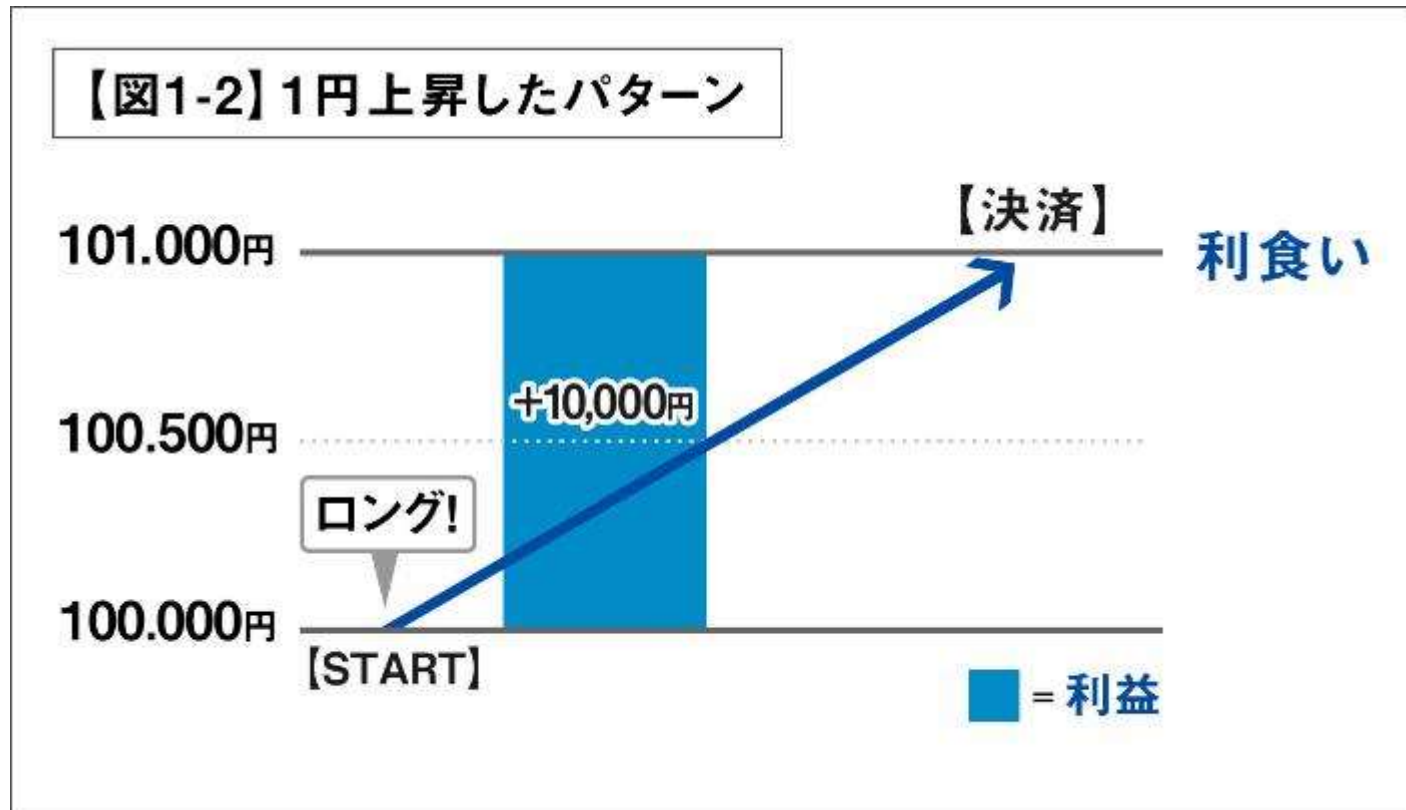


普段、1回10万通貨でトレードしているのであれば、損切りラインまで1万通貨ずつナンピンしていき、合計で10万通貨になるようにする。

※ナンピンする時のpips幅を、仮に100pipsとしていますが、これは人それぞれ違ってきます。損切り、利益確定のラインもその時の状況によって違いますが、今からは上記の設定で説明していきます。

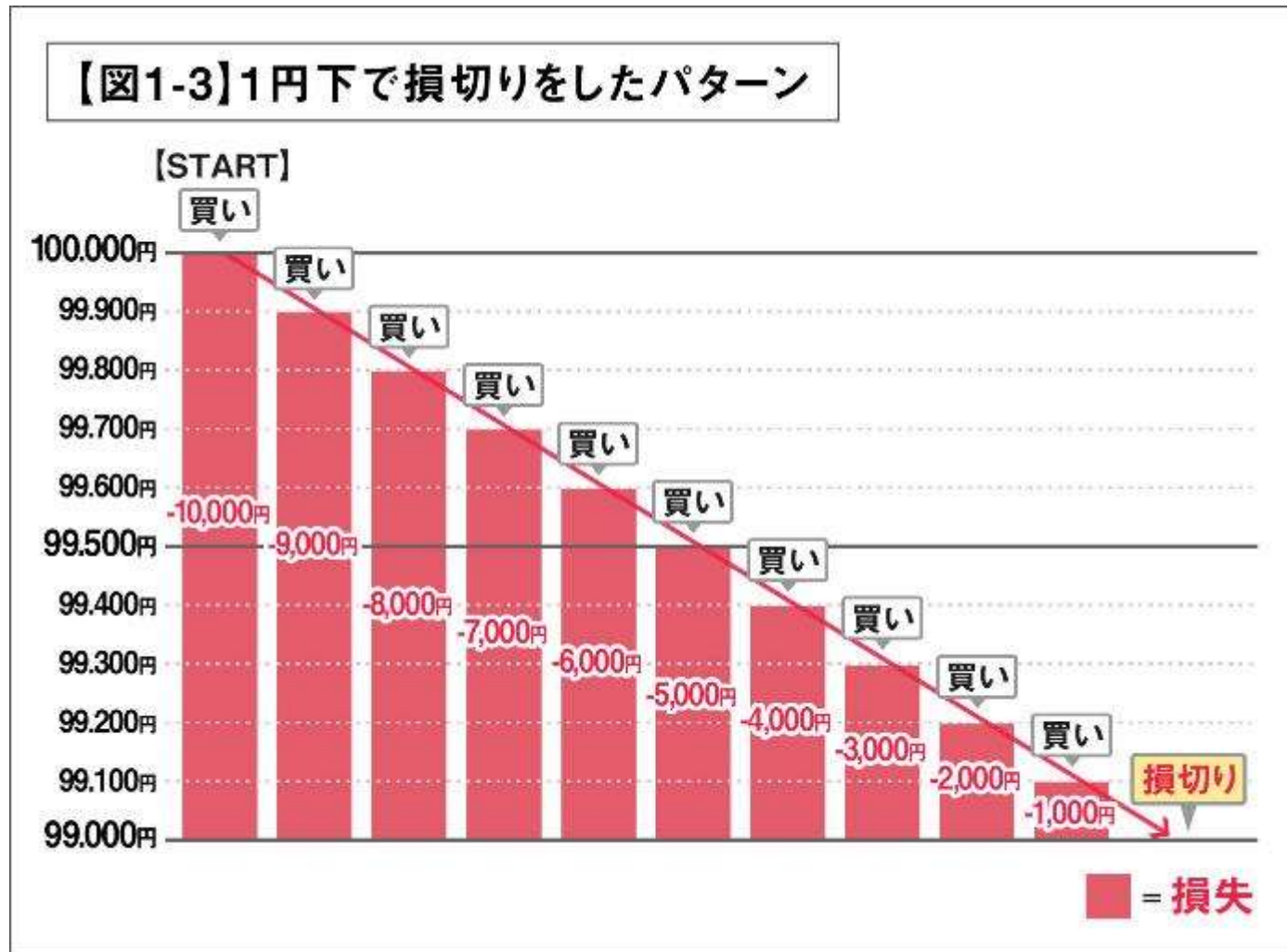
ナンボトレードでストレートに1円上昇したパターン

スタートから1円上昇して、そこで損切りした場合、スタート時に買った1万通貨のポジションが利益確定されるので、1万円の利益になる。



ナンボトレードでストレートに1円下落したパターン

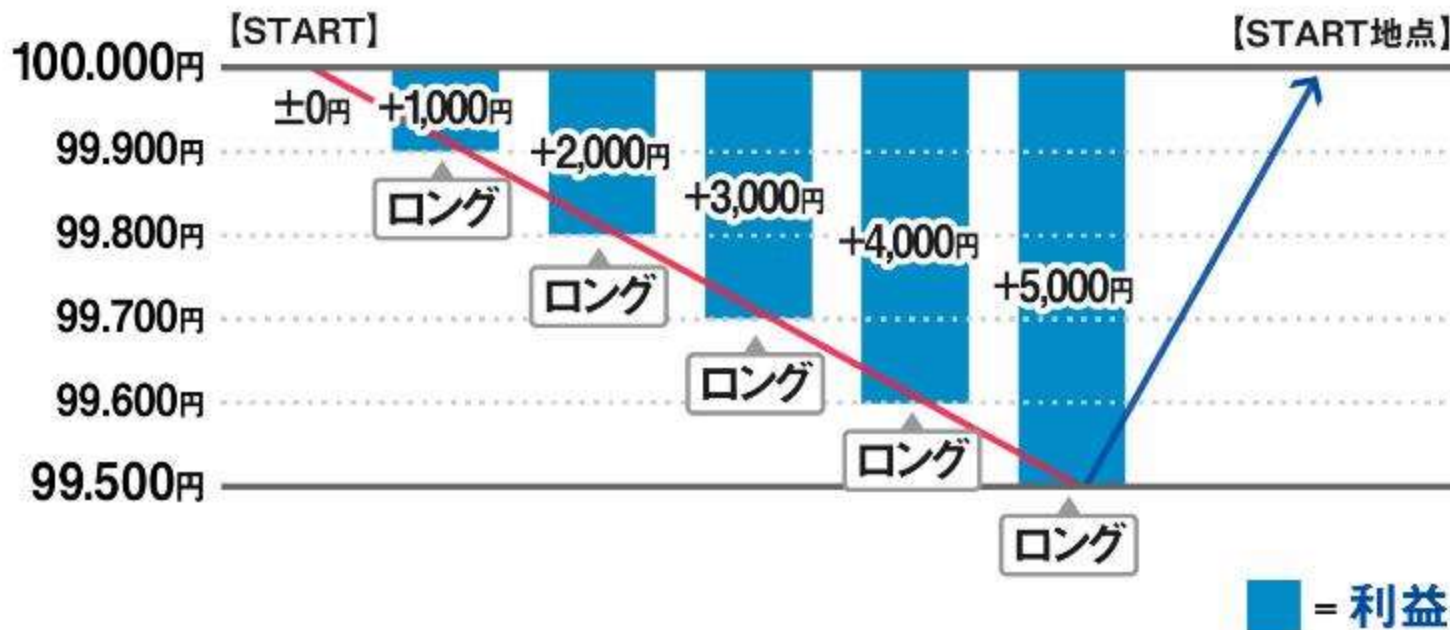
スタートから1円下落して、そこで損切りした場合、途中でナンピンしていくので、下記のように損失が出て、合計で55,000円の損失となる。



ナンボトレードで一旦下落後戻ってきたパターン

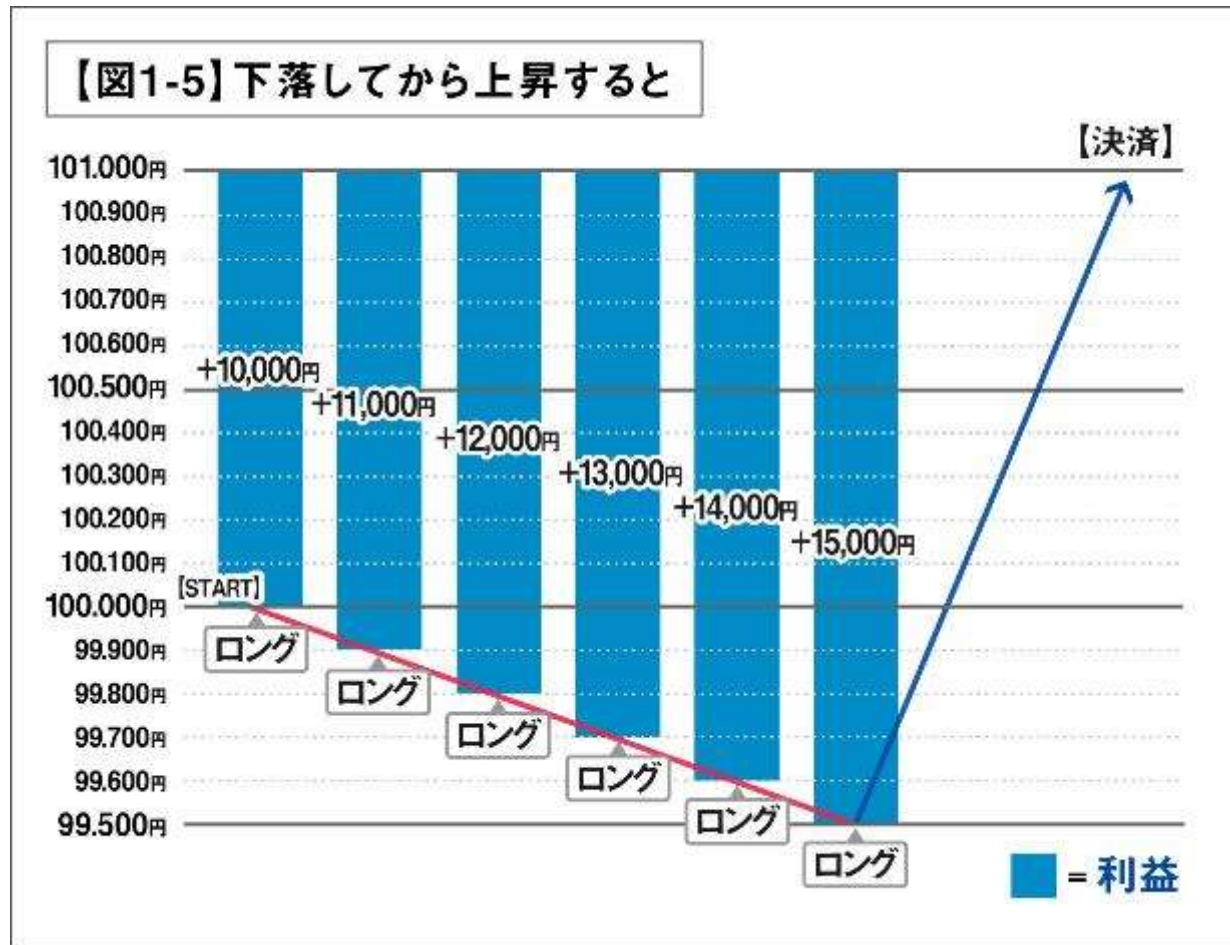
スタートから一度、500pips下落したものの、損切りラインまでは届かず、反転してスタート地点に戻ってきたら、合計で15,000円の利益となる。

【図1-4】下落してスタート地点まで戻ってくると



そこからさらに上昇し、スタート地点から1円上昇した場合

スタートから一度500pips下落したものの、損切りラインまでは届かず、反転してスタート地点から1円上昇した場合、合計で75,000円の利益となる。



ナンボトレードと一般的なトレードの比較

【図1-6】下落してから上昇すると

	一般的な トレード方法	ナンボ トレード法
ストレートに1円順行して 利食いをした場合	+100,000円	+10,000円
1円逆行して損切りをした場合	-100,000円	-55,000円
500pips逆行してスタート地点 まで戻ってきた場合	±0円	+15,000円
500pips逆行し、1500pips順行 して利食いをした場合	+100,000円	+75,000円

エントリー方法について

- ・レートが反発する動きを狙う。

（レンジ相場の中での反発の動きなのか、トレンド相場の中での反発の動きなのかは、判断する必要はない。）

なので、逆張りでエントリーすることになる。

- ・見ているチャートは、1時間足、5分足、日足。

表示させているテクニカル分析は、それぞれの足に、ボリンジャーバンドとストキャスティクス。

★パラメーターの設定★

ボリンジャーバンド…105（日足は200）にして、 $\pm 4\sigma$ まで表示
ストキャスティクス…%Kは26、%Dは17、slow%Dは9に設定し、
表示は%Dとslow%Dのみ。

エントリー方法について ①1時間足の確認

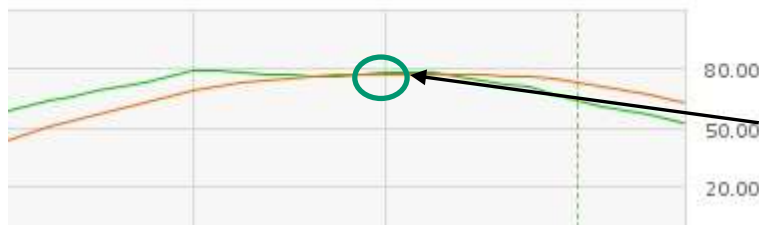
1時間足チャート



1時間足のボリンジャーバンドを見て、 $+2\sigma$ や $+3\sigma$ に、ローソク足が勢いよく当たっていれば、ショート目線となる。（ -2σ や -3σ にタッチしていれば、ロング目線）

「勢いよく」というのは、ローソク足の長さで判断。それまでより少し長めの足が出ているかどうかを見る。また、陽線が連続して続いている場合なども、上昇の勢いが強いと判断できる。（上昇の勢いが強いということは、反発した時の跳ね返りも大きい。）

さらに上ヒゲをつけていれば、そこから下がることが多いので、よりショート目線となる。



スローストキャスティクス（slow%D）が80%になっている。＝買われすぎ なので、ここから下がる可能性が高いので、ショート目線となる。

※ボリンジャーバンド、スローストキャスティクスの方向性が一致していれば、次に5分足を見てさらに確認。

エントリー方法について ②日足の確認

日足チャート



1時間足がショート目線だった場合、
日足はボリンジャーバンドのセンターラインより上にレートがあれば、エントリーしてOKと判断。
(1時間足がロング目線であれば、センターラインより下であればOK)



1時間足がショート目線なのに、日足でボリンジャーバンドの -2σ 、 -3σ にタッチしてたら、日足ではロング目線ということになり、1時間足の予想と合わないので、エントリーは控える。

※ここでエントリーしてOKと判断できれば、
次に5分足チャートを見る。

エントリー方法について ③5分足の確認

5分足チャート

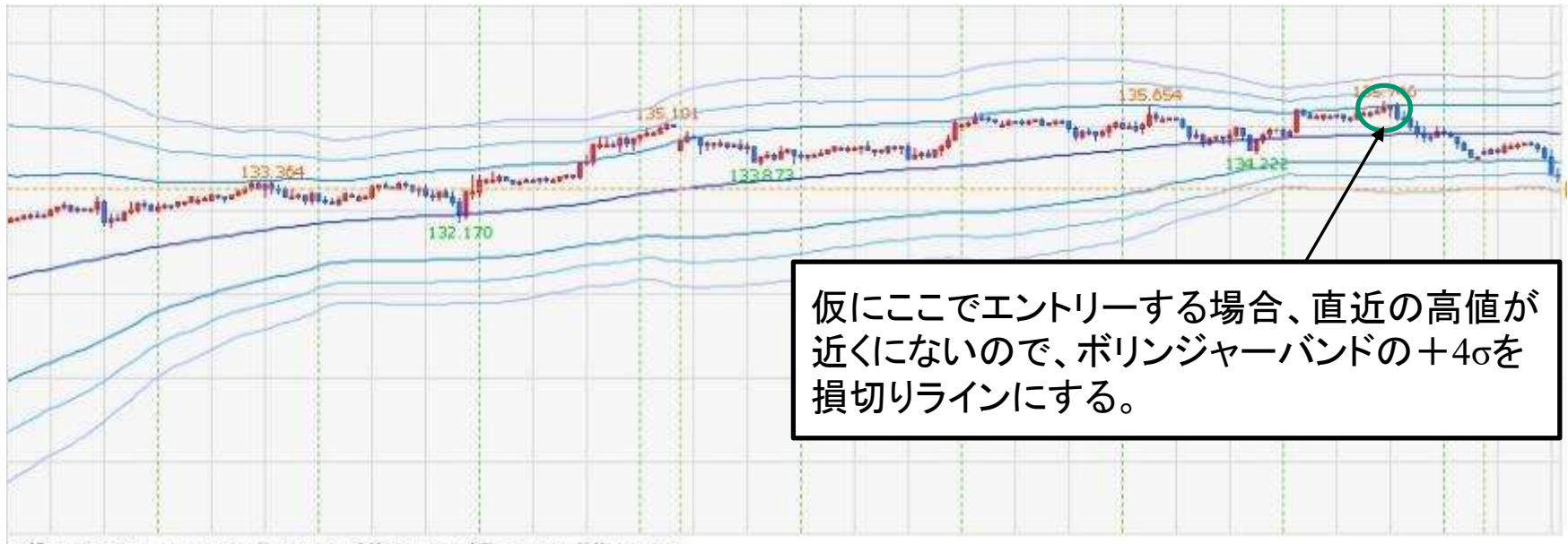


5分足チャートを見て、スローストキャスティクス(slow%D)が80%以上になるのを待つ。
(1時間足がロング目線であれば、20%以下になるのを待つ。)

エントリー方法について ④損切りと利確の位置決め

①損切りの位置（1時間足を見て判断）

直近高値の5銭上くらいに置く。（ロングでエントリーする場合は、直近安値）
もしくは、ボリンジャーバンドの $+4\sigma$ に置く。（ロングでエントリーする場合は、 -4σ ）
どちらにするかは、エントリーした所からの幅などで判断する。



エントリー方法について ④損切りと利確の位置決め

②利確の位置（1時間足を見て判断）

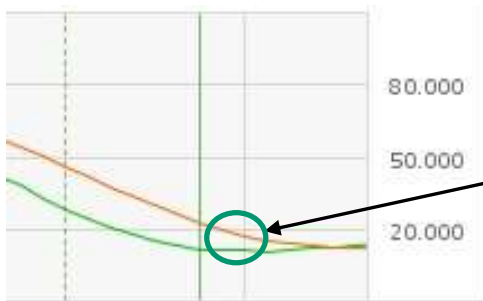
エントリーした後、ボリンジャーバンドのセンターラインに達したら利確。

もしくは、スローストキャスティクスが20%を下回ったら利確。

（ロングでエントリーした時は、スローストキャスティクスが80%以上になったら）



仮に ○ でエントリーした場合、利確はボリンジャーバンドのセンターラインに達した ○ で行う。



もしくは、スローストキャスティクスが20%以下になったら利確。

ナンピンのルール決め方①

①ナンピンの1つめの方法は、
一定の時間がたつごとにナンピンする方法。

私は、1時間ごとにチャートを見て、逆行していればナンピンしている。
例えばショートでエントリーした場合、1時間足で足が確定した時に、
逆行しているものの、陽線に力がない感じだと思えたら、ナンピンしていく。
(陽線に力がない時 = 短めの陽線、上ヒゲをつけている陽線 など)

これを1時間ごとにチャートを見て判断している。

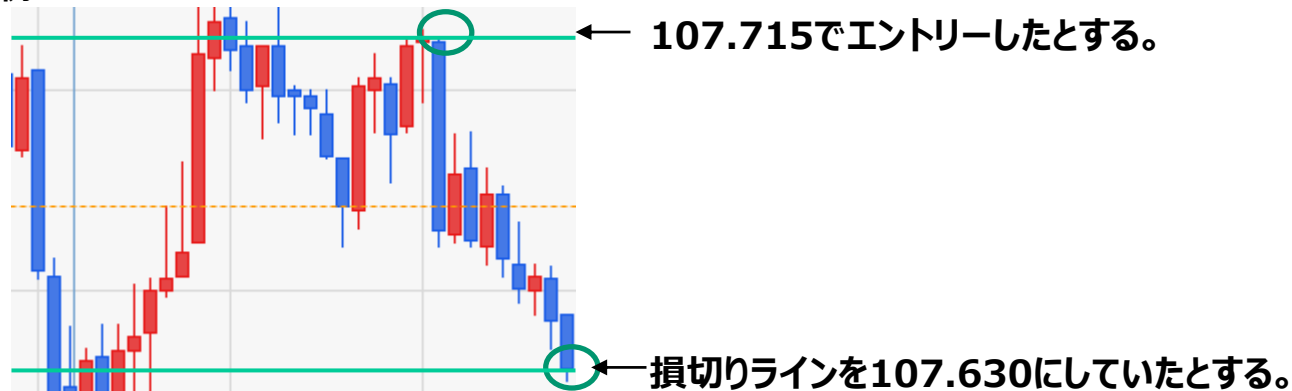


例えば、ここ(長い陽線)でエントリーした場合、
次の足 ○ で逆行しているが、陽線が短いし
上ヒゲをつけているので、上昇の勢いが弱まっ
ていると判断できるので、○ でナンピンする。

ナンピンのルール決め方②

②エントリーする時にまず損切りのラインを決め、そこまで逆行することによってナンピンしていくが、通常持っているポジション量を5分割くらいに分ける方法があります。（あまりポジションを分割しすぎると、管理が大変なので、5分割くらいがちょうどいい）
損切りまでのpips幅÷5 のpips幅でナンピン

例



エントリーから損切りまでのpips幅は、 $107.715 - 107.630 = 85\text{ pips}$
 $85\text{ pips} \div 5 = 17\text{ pips}$ なので、エントリーから17pips逆行することによってナンピンをする。
普段1回のトレードで10万通貨のポジションを持っているのであれば、 $10\text{万通貨} \div 5$ の2万通貨ずつナンピンしていく。

ナンピンのルール決め方③

③テクニカル分析でナンピンするポイントを判断するやり方もある。

【例①ボリンジャーバンドを使った、エントリー～ナンピンpipsの決め方】

1. エントリーしていいタイミングかどうか、1時間足、日足を見て判断する。

(P.9～10の手順と同じ)

2. 1時間足、日足がショート目線だった場合、1時間足チャートを見て $+2\sigma$ に達したらショートでエントリー。

損切りラインは、 $+4\sigma$ のラインにする。

3. もし逆行して、 $+3\sigma$ に達したら、ナンピンする。

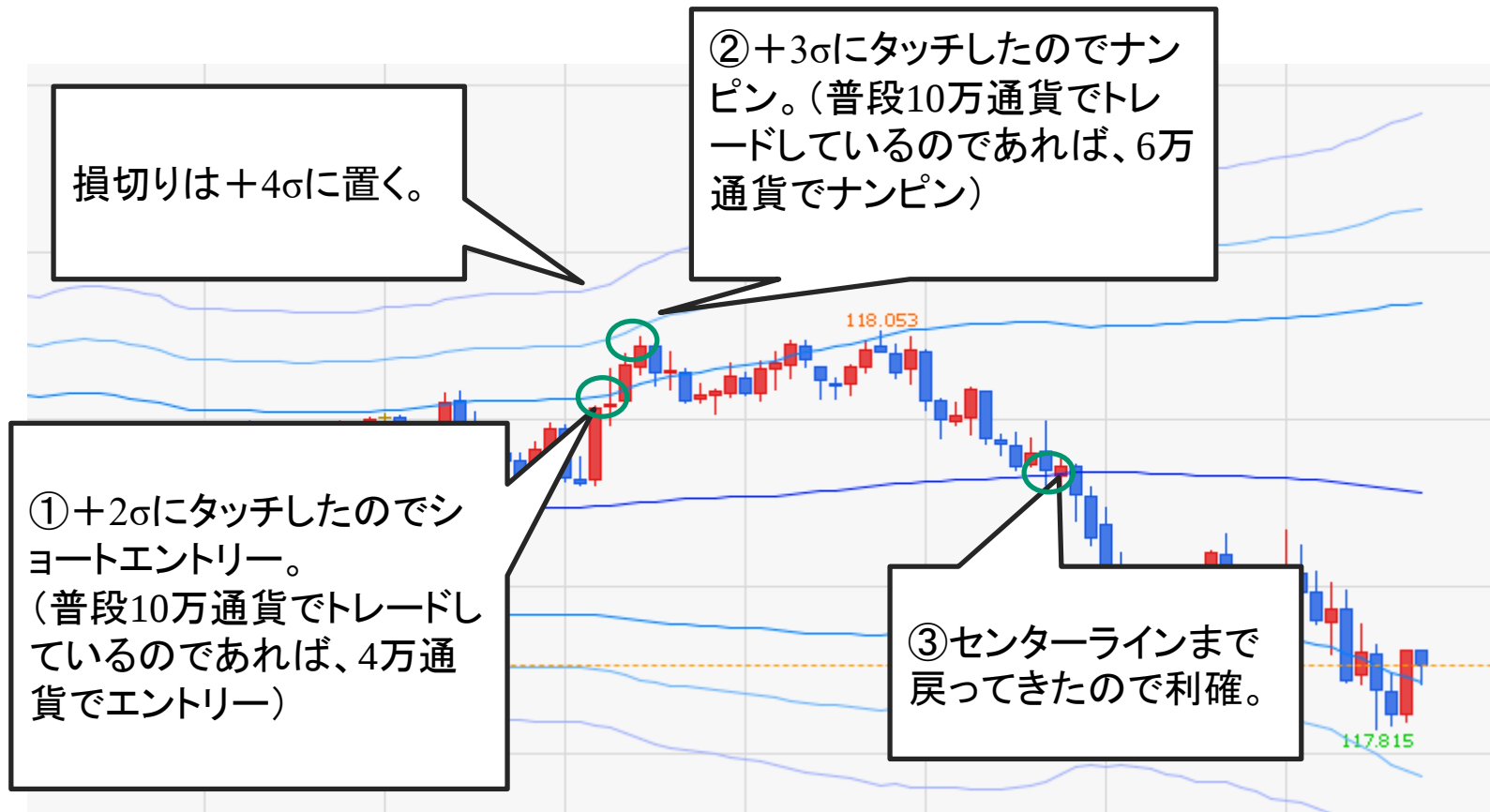
※ $+2\sigma$ で入る時と $+3\sigma$ で入る時のポジションの割合は、2:3にする。

普段10万通貨でエントリーしているのであれば、 $+2\sigma$ で入る時は4万通貨、 $+3\sigma$ で入る時は6万通貨。

3σ の方が、反発する可能性が高いため、多めにポジションをとる。

4. ボリンジャーバンドのセンターラインまで戻ってきたら利確。

ナンピンのルール決め方③



ナンピンするメリット

- ・もし、逆行し続けて損切りすることになっても、ポジションを分割して持っているので、一般的なトレード方法よりも損切り額を減らすことができる。
- ・レートが反発するポイントを見極めてエントリーするが、エントリーした所がまだ反発するには早いタイミングで、逆行してしまったとする。逆行が終わって反発してきたら、ナンピンをしていることによって、持っているポジションの平均レートがよくなるので、利益がうまく取れる場合がある。
- ・ポジションを分割して取ることのメリットとして、いわゆる「打診買い」が可能になる。最初に少ないロットでエントリーし、その後状況を見て判断をすることができる。

資金管理について～損失許容額～

損切りラインを、チャートを見て判断する方法をお伝えしましたが、ナンピンする時の通貨枚数は損失許容金額から決めます。

一般的には、損切りは資金の5%前後にするのがいいと言われていますが、その金額が大きすぎるようであれば、調整が必要です。自分の資金の中で、いくらかいが許容できる損失額なのか考えて、その金額におさまるようにしましょう。

資金管理について～損切りするpipsの決定～

損失許容額が決まったら、どれくらい逆行したら損切りするか決めます。

ボリンジャーバンドを使ったトレードのように、チャートを見て決める方法と、pips幅で決めるやり方があります。

- ・ドル円やユーロ円、豪ドル円などの通貨ペアの損切りpips幅

スキャル…100pips～200pips

デイトレ…500pips～1000pips

スイング…1000pips～3000pips

- ・ポンド関連通貨ペア（変動幅が大きい）の損切りpips幅

上記の倍くらいのpips

資金管理について～ポジション量の決定～

損失許容額と損切りするpipsが決まったら、ポジション量を決めます。

【計算式】

損失許容額÷合計損失pips（円単位）＝各ポジションごとの持っ
てもいい通貨枚数

※合計損失pipsとは、ナンピンしていき、決めた損切りポイントで損切りした時の、各ポジションの損失pipsを合計したもの。
これを円単位に変換する。

例えば、損失許容額が3万円、合計損失pipsが5500pipsの場合、
 $30000 \div 5.5 = 5454$ 通貨 ということになる。

資金管理について～ポジション量の決定～

ボリンジャーバンドの $\pm 2\sigma$ でエントリー、 $\pm 3\sigma$ でナンピンする手法は、エントリーする時とナンピンする時の通貨数量が違うので、以下の計算式となる。（例えば、 2σ で2万通貨、 3σ で3万通貨のポジションをもつ場合は、以下の計算）

【計算式】

損失許容額 $\div$ $\left((\sigma \text{の間隔のpips} \times 2 \times 2 \text{万通貨} + \sigma \text{の間隔のpips} \times 3 \text{万通貨}) \div 100 \right)$

※この「2」は、損切りまでの σ の間隔が2つ分だから。

資金管理について～ポジション量の決定～

よりおおざっぱに計算するのであれば、以下の計算式。

【計算式】

損失許容額 ÷ (1000 ÷ 損切りするpips) = 持ってもいい通貨枚数
※私はデイトレーダーなので、機械的に損切りする場合、500pipsで損切りするので、「500」となる。

スキャルの場合は「200pips」、スイングだと「2000pips」で計算します。

上記は一度にポジションを持つ時の計算式だが、
ナンボトレード法は一般的なトレード方法より損失額が少ないため、
こちらで計算しても問題ない。

実際のトレードについて

まずは、1時間足、日足、5分足の順にチャートを見て、レートが反発する可能性が高いタイミングを見極める。(P.9～11)
全ての足で、エントリーしていい条件がそろったという前提で、ここからは解説させていただきます。

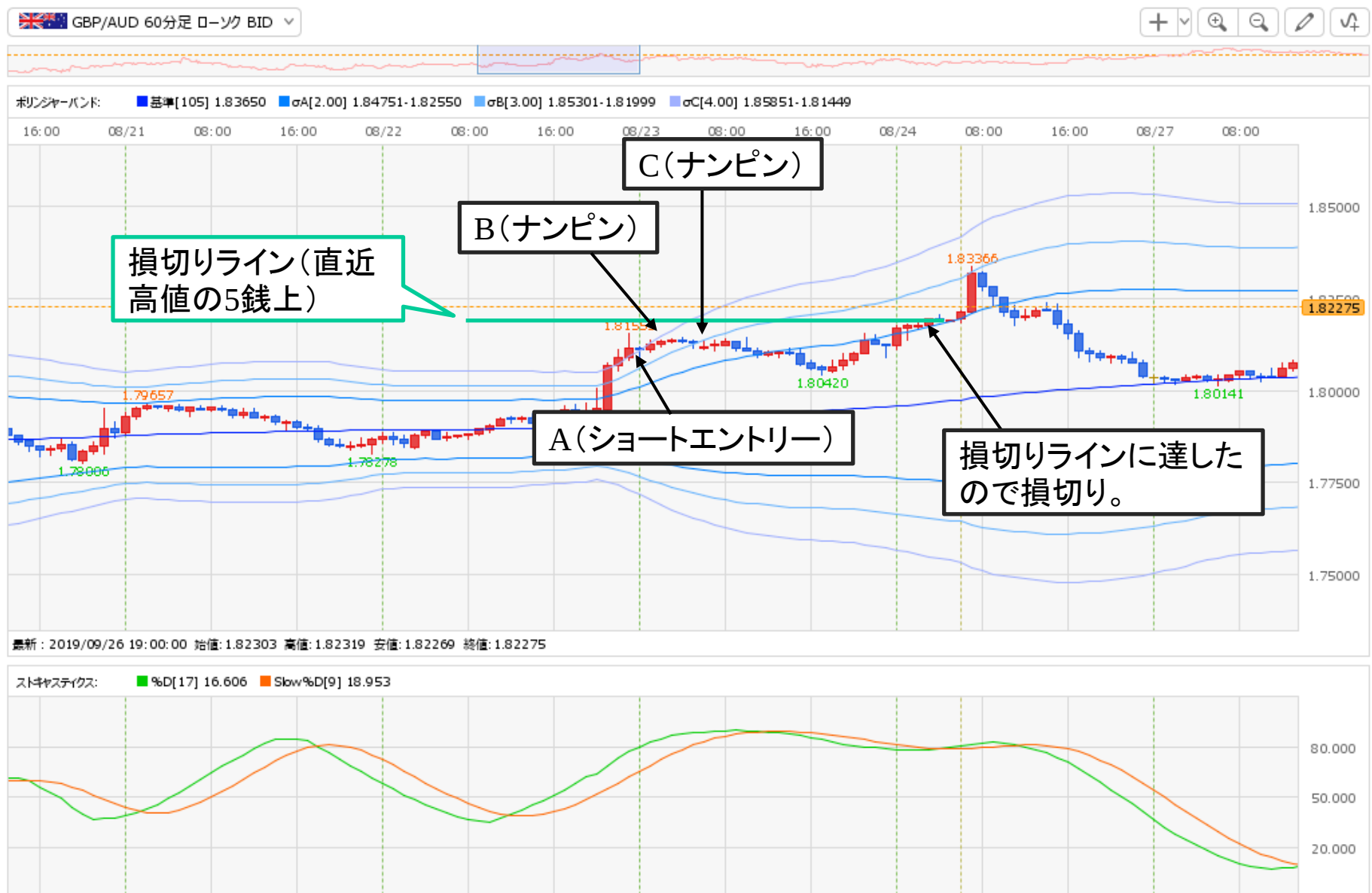
実際のトレードについて①



実際のトレードについて②



実際のトレードについて③



<リスク開示>

このセミナーは、情報提供を目的としており、FX取引の勧誘を目的としたものではありません。また、実際の市場動向とは異なる可能性があり、断定的判断を提供するものでもありません。当該セミナーの内容を予告なく変更する場合があります。

当該セミナーの内容および資料のご利用によりお客様に損失が生じた場合であっても、当社および当該セミナーの講師（所属会社を含む。）は一切の責任を負いません。お取引につきましては、お客様ご自身の判断と責任において行っていただきますようお願い申し上げます。

なお、セミナーに関する著作権は、当社および作成者に属します。

お客様の私的使用目的以外での使用、他人への譲渡や販売または再配信等を行うことはできません。

<注意喚起>

店頭外国為替証拠金取引は、元本や利益を保証した金融商品ではなく、為替レートの変動等による損失発生可能性があります。さらに、レバレッジ効果（想定元本と比較して少額の資金で大きな取引ができる仕組み）や為替レートの変動等によって注文（ロスカット注文を含む）が約定しない場合等、元本を上回る損失発生の可能性があります。

特に、マイナー通貨（流動性の低い通貨）の取引をされる場合、元本以上の損失発生の可能性が高くなります。加えて、スワップポイント（通貨間の金利差調整額）においては通貨ペアやポジションの状態（売りまたは買い）によっては、受け取れる場合もあれば、支払わなければならない場合もあります。

当社は、インターネットを通じて店頭外国為替証拠金取引サービスをご提供しておりますので、お客様のパソコン・インターネット環境や当社のシステムに不具合が生じた場合等、取引ができなくなる可能性があります。また、お客様の取引の相手方は当社（相対取引）となっており、取引所取引とは異なりますので、契約締結前交付書面をよくお読みいただき、内容をご理解の上、ご自身の判断により取引を行っていただきますようお願いいたします。

商号：ヒロセ通商株式会社

業務内容：第一種金融商品取引業

登録番号：近畿財務局長（金商）第41号

加入協会：金融先物取引業協会会員番号1562